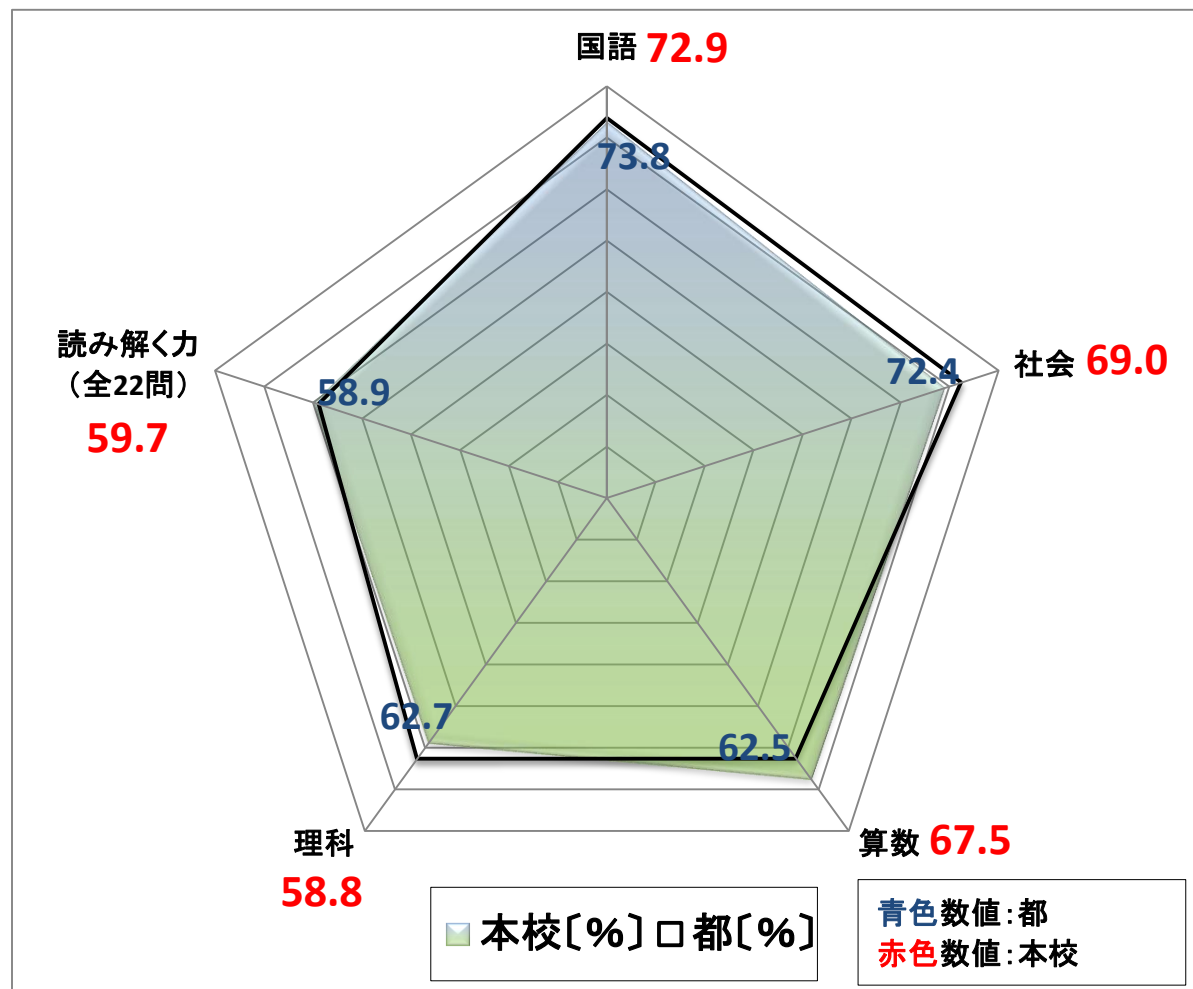


平成28年度児童・生徒の学力向上を図るための調査結果による「確かな学力向上推進プラン」策定のための課題分析表

第四葛西小学校

《学力調査結果チャート》※本校と都の平均正答率の比較



《現状把握》

- ・国語0.9%、社会3.4%、理科3.9%、いずれも都平均を下回った。
- ・算数5.0%、読み解く力については0.8%と都平均を上回ることができた。
- ・読み解く力に関する内容においては、国語3問中2問、社会6問中3問、算数6問中4問、理科6問中4問と都平均を上回ることができた。

《授業改善のポイント》(推進プランは別紙)

- 【国語】複数の資料を活用して自分の考えをまとめる場合、「何と何を比較するのか」「共通点と相違点」をまず明確にしていく。
- 【社会】写真や地図、グラフから必要な情報を取り出す時、5W1Hを用いて書かれていることを読み取らせ、その中で目的に応じた情報は何かつかませていく。
- 【算数】比較関連付けて読み取る場合、まずは表に整理をしてみる。その表の中からきまりを見つけ、問われている内容について考えさせていく。
- 【理科】問題を見だし、予想や仮説を立て実験を計画させる。分析的に読み取った結果を問題や仮説に照らし合わせて考えさせていく。

《チャートの特徴》

- ・都平均とほぼ同じ形を描いている。
- ・算数(67.5)、読み解く力(59.7)においては、都平均を上回っている。
- ・国語(72.9)、社会(69.0)、理科(58.8)においては、都平均を下回った。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・学校だより等で、家庭での学習習慣の形成について理解と協力を求める。
- ・5年の保護者会においては、全体としての傾向を伝えていく。
- ・個人面談等においては、個人票を用いて、個々の児童について伝えていく。